

【資料4】 デジタル化推進員の部会の設置について(案)

デジタル化推進本部事務局
(経営戦略部 情報戦略課)

1 デジタル化推進員の現状

- 今年度から各課に配置された推進員は、「本部員の指示」、「重点目標・課題懸案事項」に基づいて、その役割を果たしているものと想定。この役割については、想定しているものなので引き続き担ってほしい。
- 一方で、各種技術などは、進展・変化も早いことから推進員がそれらの情報などに詳しい可能性がある。
- 今後のDX推進において、これらの情報などを効果的に活用して、全庁に普及し具体的な施策につなげていきたい。

2 部会設置の視点

①時間的視点：どの程度先を見越した議論展開を行うか。

- ・目の前(1～2年程度の将来)の課題解決ではなく、5～10年程度の先を見た検討を行う。

②市民サービスの向上

- ・「市民サービスの向上」を念頭に、それに直結するような取組を議論。市民サービスの質の一定の統一化を意識する。

③内部事務の効率化・投資効果

- ・①・②の整理にあたり、職員の負担軽減や投資効果を念頭に置きながら検討を行う。

3 デジタル化推進員との意見交換の具体的な進め方

【議論における前提】

- 部会で検討した内容は、ボトムアップ的に本部長・本部員へインプットし、組織全体としての業務改善を図る。
- 各部局は、「新たな市役所の創造」、「市役所のリデザイン」を強く意識し、本部会のアウトプットに積極的に協力する。

(1)ステップ1：デジタル化推進員からの意見募集

- デジタル化推進員からDXに関するアイデア等の意見募集を行う。その中から今後の施策につながりそうな意見をピックアップ。それらの内容を踏まえて部会の体制等を整理する。

(2)ステップ2：アイデアに対する意見交換

- ピックアップしたアイデアを深堀する意味で、提案した推進員と事務局(※)で意見交換を実施し、テーマ設定に向けたブラッシュアップを行う。意見交換内容は本部会議等で共有する。

※意見交換への参加メンバーについては要検討。例：市長・両副市長×推進員×事務局 等

(3)ステップ3：テーマ設定・施策化

- (1)・(2)の議論を踏まえて、深堀・施策化するべきテーマを設定し、推進員及び事務局を中心に議論。
- 議論内容については随時、本部会議へ報告し、本部長・本部員からの意見を踏まえ施策化・事業化

4 当面のスケジュールイメージ(下記スケジュールについては今後、調整しながら進めていく予定です。)

- 10月中：推進員からのアイデア募集
- 11月前半：アイデア内容の整理
- 11月後半：アイデアに関する意見交換、部会体制の整理
- 12月以降：部会の設立 ※今年度最終回の本部会で提案することを目標

